

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network 12 / 1

2019 No.528

JART情報
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル31階
TEL. 03-5405-3612 FAX. 03-5405-3613



2019年 JART 10大ニュース!!

1 第8回 医療放射線の適正管理に関する検討会 開催される

2019年3月6日(水)、厚生労働省において第8回医療放射線の適正管理に関する検討会が開催された。本会からは構成員である小田正記理事をはじめ、中澤靖夫会長らが随行者として出席した。

(1) パブリックコメントを受け、対応方針を審議した。

①医療放射線の安全管理責任者の配置に関して、医師または歯科医師の他、常勤の医師または歯科医師が適切な指示を行う体制が確保されている場合は、当該医療施設の診療放射線技師を責任者と認めることが了承された。②診療用放射線の利用に係る安全管理のための線量を記録する放射線機器の種類については、CTエックス線装置、血管造影検査に用いる透視用エックス線装置、診療用放射性同位元素、陽電子断層撮影診療用放射性同位元素を対象とすることとなった。③院外調製の陽電子断層撮影診療用放射性同位元素については、ヒトに対して適正に使用することが外形的に明らかであるものに限定することとなった。

(2) 従来医療法施行規則になかった①核医学機器の精度管理における放射性同位元素の使用について②エックス線診療室における複数のエックス線装置の使用について③エックス線装置の使用場所の制限の合理化について——が盛り込まれ、その留意点が審議された。

(3) 放射性廃棄物の取り扱いが原子炉等規制法で一本化されたことによる、医療用放射性汚染物の規制の一元化が図られることになり、その具体案が審議された。

(4) 医療機器の効率的な活用の情報提供がなされた。

なお、「医療法施行規則の一部を改正する省令(平成31年厚生労働省令第21号)」が2019年3月11日に公布された。

このうち「診療用放射性同位元素及び陽電子断層撮影診療用放射性同位元素の取扱いに関する規定」は2019年4月1日施行、「診療用放射線に係る安全管理体制に関する規定」は2020年4月1日より施行されることとなった。

これまでの検討会の内容は厚生労働省ホームページを参照されたい。

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-isei_436723.html

2 第80回 公益社団法人日本診療放射線技師会定時総会 開催される

2019年6月1日(土)、日経ホールで第80回公益社団法人日本診療放射線技師会定時総会が開催された。

中澤会長から、医療放射線安全管理の推進ならびに医療放射線安全管理責任者の設置の推進と講習会の開催、診療放射線技師学校養成所カリキュラムの改正、技師法改正と業務拡大を目指す方針が掲げられた。

表彰は功労表彰と永年勤続表彰、2018年度学術奨励賞の授与式が執り行われた。

報告事項は、2018年度事業報告、2018年度決算報告および2018年度監査報告であった。事業報告では各地で発生し



た災害についての調査と支援活動が報告され、中澤会長より義援金のご協力に対する感謝の意が述べられた。決算報告では、12.5%の経費削減（目標値5%）が報告された。

議案の2019年度事業計画(案)、2019年度予算(案)、診療放射線技師法改正(案)および会費等納入規程改正(案)は賛成多数で可決された。2019年度スローガンは「国民と共にチーム医療を推進しよう」が承認された。

本総会の詳細な内容は、会誌8月号掲載の総会議事録(抄)を参照されたい。



3 眼の水晶体の被ばく限度の見直し等に関する検討会 開催される

電離放射線障害防止規則（昭和47年労働省令第41号）について、水晶体の被ばく限度の見直し等に伴う所要の改正に資することを目的として、「眼の水晶体の被ばく限度の見直し等に関する検討会」が開催されており、本会から富田博信理事が出席している。

第1回では、放射線による健康障害防止に係る法令と現状についての把握、最近の動向の実態聴取が行われた。第2回からは、眼の水晶体の等価線量限度について議論され、本会からも富田委員が資料を提示、説明した。第3回は、緊急作業、除染等業務に係る眼の水晶体の等価線量限度について、第4回は、眼の水晶体の等価線量を算定するための実用量について議論が行われた。線量限度改定は世界基準に準じ科学的にも正論であるが、現在の年間150mSvから改正後20mSvに引き下げた場合の懸念事項が議論され、実際の現場における術者水晶体線量把握のため、数施設のFeasibility Studyより測定の妥当性を検証している。その後、全国レベルで実測データを取得し、さらなる検証が実施される予定である。

線量適正化はわれわれ診療放射線技師の領域であり、ガイドラインも含めた教育の重要性は大きいと、本検討会の中でも積極的に発信している。

これまでの議事録は厚生労働省のホームページを参照されたい。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02959.html

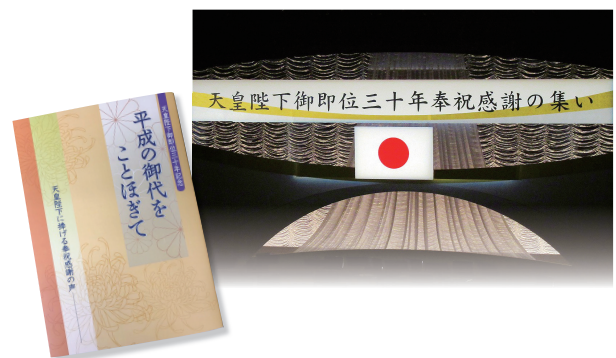
4 第35回 日本診療放射線技師学術大会 開催される

2019年9月14日(土)から16日(月・祝)までの3日間、埼玉県 大宮ソニックシティにおいて第35回日本診療放射線技師学術大会が開催された。公益社団法人日本診療放射線技師会の主催、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の共催により「国民と共にチーム医療を推進しよう 一彩の国から未来へ」をテーマに掲げ、2,542人の参加登録、演題数は448演題となり、盛会に開催された。

5 天皇陛下御即位三十年奉祝感謝の集い 開催される

2019年4月10日(水)、「天皇陛下御即位三十年奉祝感謝の集い」が東京・隼町の国立劇場で開催され、本会から中澤会長が奉祝委員として参加した。

奉祝国会議員連盟会長、奉祝委員会会長による主催者式辞、内閣総理大臣および衆議院議長によるご来賓祝辞、各界からの祝辞が述べられた。祝賀コンサートの部ではNHK交響楽団有志やクラリネット奏者、有名歌手による祝賀演奏があった。当日は『平成の御代をことほぎて』（天皇陛下に捧げる奉祝感謝の声）が出版され、参加者約1,800人に配布された。



6 2019年度 第1回 医療被ばく低減施設認定取得セミナー 開催される

2019年6月22日(土)、北海道放射線技師会のご協力を得て標記セミナーが開催され、全国から37人が参加した。

講習では、医療被ばく低減施設認定取得への活動が改正医療法施行規則への対応に則することの解説に始まり、審査基



準の説明および取得に向けての活動紹介が行われた。また組織・臓器線量評価ソフトであるPCXMCの操作方法、EPDとWAZA-ARIV2の操作方法と推計理論など詳細な解説が行われた。今回は、医療被ばく低減施設認定審査を行っているサーベイヤー4人が講師として参加しており、活発な質疑応答が行われた。

7 全国地域連絡協議会 (全国会長会議) 開催される

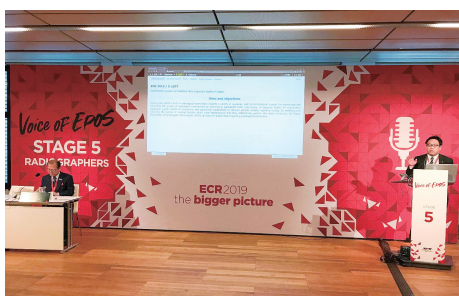
2019年6月2日(日)、本会事務所で本年度第1回の全国地域連絡協議会(全国会長会議)が開催された。

本会議では「医療放射線安全管理責任者について」「医療被ばく低減施設認定事業への協力について」「診療放射線技師学校養成所カリキュラム等改善検討会報告」「業務拡大に伴う統一講習会受講率等について」「都道府県における養成校設立の動きについて」「医療機器の保守点検指針の作成等に関する研究事業について」「災害支援認定診療放射線技師制度・分科会等について」「さらなるタスク・シフティングに向けた提案」「業務執行理事出張規程について」が話し合われた。さらに放射線機器管理士分科会 中村分科会長(福岡県会長)より、「放射線関連機器故障・事故調査」についての協力要請があった。



8 ECR2019においてVoice of EPOS Japaneseセッション 開催される

2019年2月27日(水)から3月3日(日)まで、中澤会長と児玉理事がオーストリア・ウィーンでECR (European Congress of Radiology) 2019に参加した。今回初めてRadiographers' LoungeとしてISRRTや各国の診療放射線技師会のブースが設置された。本会のブースでは、海外研



究発表者渡航助成事業の助成証書授与式が執り行われた。

2月28日(木)・3月1日(金)の2日間、中澤会長が座長を務め、初めてのVoice of EPOSのJapaneseセッションが開催された。

また初の試みとして、ESR (European Society of Radiology) Connect StudioにおいてESR会長や各学術団体の代表などにインタビューが行われ、中澤会長がインタビューに応じた。

今回行ったESRとの会議では、ESR corresponding membershipへの日本からの697人の登録に感謝が述べられ、多くの日本の診療放射線技師のAbstractおよびshape your skillsプログラムの採択も報告された。

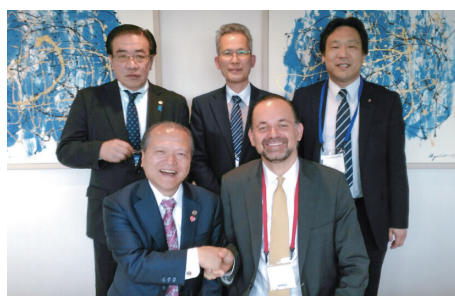
9 『ラジエーションハウス(グランドジャンプ連載中)』 テレビドラマ化決定!

漫画雑誌グランドジャンプ(集英社)で連載中の『ラジエーションハウス』の監修を務める五月女康作氏(会員)、株式会社集英社第4編集部次長・企画室室長 藤江健司氏、週刊ジャンプ副編集長 春日井宏往氏、グランドジャンプ編集部古屋裕司氏が来訪され、テレビドラマ化の朗報を頂いた。



10 ESR Michael Fuchsjaeger 第一副会長との会議 開催される

2019年4月12日(金)、パシフィコ横浜でESRのMichael Fuchsjaeger 第一副会長との会議が開催され、ECR2019でのVoice of EPOS Japanese Sessionの謝辞やECR2020のESR corresponding membership制度の広報依頼があった。さらにISRRT meets Japan sessionの企画に、シンポジストの推薦依頼もあった。今後もESRとの連携、ECRへの参加を推進する。



2019年度 第2回 医療放射線安全管理責任者講習会 開催される【感想記】

2019年10月14日(月・祝)に開催された第2回医療放射線安全管理責任者講習会を受講させていただきました。前日に開催された第1回の同講習会は台風19号の影響でキャンセル・欠席者が多数いたと聞きましたが、今回はほぼ空席なしの出席状況でありました。

本講習会では、昨今の医療法改正の流れ、技師会からの要望書、厚生労働省での検討内容、改正事項、医療法施行規則との関連性などが理解できました。また今回の改正の医療放射線安全管理責任者の配置、指針の策定、職員の研修、線量管理・記録の体制確保などを詳細に解説していただきました。何よりも指針(案)の提示には、厚生労働省からの指針策定に関するガイドラインが出て10日ほどしかないのに、すぐに活用できる完成度の高い指針(案)を提示、その解説をしていただき感謝申し上げます。ホームページからもダウンロードできるそうで、活用していきたいと考えています。

本講習会において、医療放射線の管理の重要性を学ぶこと

ができました。これを自施設の実情に合わせて対応したいと考えています。講師の先生方、役員・スタッフの皆さまにお礼申し上げます。

(日本私立学校振興・共済事業団 東京臨海病院
放射線科 野口幸作)



入魂式・外部理事講演 行われる

2019年10月5日(土)、午後1時30分から入魂式、午後2時から外部理事講演が鈴鹿医療科学大学内で行われた。

入魂式では、2018(平成30)年度の物故会員43人全員の氏名が読み上げられた。初めに、中澤会長からお言葉があり、黙とうをささげるとともに、会長、副会長、理事らが献花をお供えた。厳粛な雰囲気のうちに閉じた。

外部理事講演は、本会理事 鈴鹿医療科学大学学長 豊田長康氏による「鈴鹿医療科学大学 医療人底力教育の実践と課題」と題した特別講演が行われた。医療人底力教育とは、医療人に共通して求められる、専門科目の教育だけでは培うことのできない基盤的な技能・知識・資質の教育であり、この

カリキュラムや特色の紹介、課題について、本会理事らが熱心に聴講した。



本会への入会手続きについて(お知らせ)

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- ❶ 本会ホームページ (<http://www.jart.jp>) から“新規入会はこちらから”をクリック
- ❷ 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL : 03-5405-3612 E-mail : info@jart.or.jp

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。

2019年度 第3回理事会 開催される

2019年10月5日(土) 午後2時30分より、鈴鹿医療科学大学JART記念館で2019年度第3回理事会が開催された。

理事会の開催に当たり、中澤会長より3つの話があった。1つ目は、保守点検が必要と考えられる医療機器の適応拡大について、厚生労働省医政局にアンギオ検査装置、心臓カテーテル検査装置、核医学診断装置(PET・SPECT)、造影剤注入装置(インジェクター)の追加に関する要望書を提出したこと。2つ目は、医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフティングについて、47都道府県からのアンケートをまとめ、厚生労働省に報告したこと。3つ目は、医療放射線安全管理責任者講習会についてであった。

主な議題として、「医療放射線安全管理責任者講習会の追加開催について」では、2020年1月12日・13日、2月1日・2日の追加開催と各都道府県技師会から推薦者2人の優先受講の方針が示され、また厚生労働省医政局長の公認が得られたと報告があった。「医療機器故障事故調査の協力について」では、中澤会長より、厚生労働省へ提出する重要な資料となるため多くの施設の協力をお願いしたいと発言があった。その他の議題は、「レントゲン週間イベントの助成金について」「タスク・シフティング推進に関するJARTの方針について」



「保守点検が必要と考えられる医療機器の適応拡大に関する要望について」などであり、全ての議題が賛成多数で承認された。

主な報告事項は、「次年度予算策定について」「水晶体被ばく管理についてのガイドライン」「タスクシフト他団体関係の報告」「タスクシフト/シェアに関する検討の場について」「第35回埼玉学術大会報告」「第36回仙台学術大会進捗報告」「放射線検査説明に関するガイドラインの更新について」などであった。

詳細な議事・報告内容については、2019年度第3回理事会議事録(抄)を参照されたい。

2019年度 第1回 画像等手術支援認定講習会 開催される

2019年9月29日(日)、奈良県立医科大学の臨床講堂で第1回画像等手術支援認定講習会が開催された。今年は新元号である令和となり、画像等手術支援分科会は早くも設立4年目を迎えたが、このたび、初めて関西地区での開催となった。また以前より会員の強い要望があり、本年度から受講者定員枠を拡大したが、応募は一瞬で締め切りとなる状況であった。

前回と同じく、8教科8時間のプログラムが8人の講師により1日で行われ、スタッフおよび受講者双方にとって大変過酷なものではあったが、164人の参加があり、地元以外からの参加者が半数以上であった。当分科会の認定講習会に深く関心を寄せている会員が全国に大勢存在していることを再認識した。当分科会は、患者さんの疾患に向き合った支援を目指しており、その中に3次元画像による手術支援がある。現在、講師はその精神を受講者に領域別に講義する形式で運用している。この認定講習会は診療放射線技師としての誇り、そしてスキルアップにつながるものと考え。本年度も計3回の認定講習会を企画しており、さらに上を目指して年に1度の認定試験に合格し、画像等手術支援認定診療放射線技師



の認定資格を取得して、日々の診療において3次元画像作成をはじめ患者支援に精進していただきたい。

今回、開催にご支援いただいた奈良県放射線技師会 水野会長をはじめ、会場をご提供いただいた奈良県立医科大学および奈良県内からお手伝いいただいたスタッフの皆さまのご尽力に感謝致します。そして全国各地から受講された志の高い皆さまの発展を祈念致します。(広島大学病院 石風呂 実)

2019年度 第2回 医療被ばく低減施設認定 取得セミナー 開催される

2019年10月20日(日)、兵庫県放射線技師会のご協力を頂き神戸大学医学部附属病院で標記セミナーが開催された。北は北海道、南は長崎県から52人の方々にご参加いただいた。本セミナーは、医療法施行規則の一部改正を受け、放射線診療の正当化と医療放射線被ばくの最適化の実践を主軸として審査が行われるため、本認定の取得意義はますます重要になったと考える。

今回はプログラムの見直しを行い、線量評価(推計)方法や最適化手法に重点を置いた構成にするなど、法改正の準備に役立つ内容とした。質疑応答では教育訓練の内容や方法に関する事、または医療被ばく説明に関する事項など実務的な内容であったことから、多くのご施設で準備が進められていることを実感した。本年度は沖縄県(2019年12月15日)、千葉県(2020年2月23日)、熊本県(2020年3月7日予定)



でも準備を進めている。その他、福岡県診療放射線技師会では、2020年2月1日に医療被ばく低減施設認定の取得を目的とした講習会の開催が予定されている。多くの方々のご参加をお待ち申し上げる。(医療被ばく安全管理委員会 鈴木賢昭)

専門職募集のお知らせ

下記の通り、本会事務局専門職を募集致します。

職務内容	本会事業運営補佐(理事・委員会・分科会・都道府県(診療)放射線技師会・関係団体と協働して、事業計画(案)の策定、事業推進および実施運営、事業結果の評価・改善に取り組んでいただきます。さらに「診療放射線技師」専門職として、厚生労働省を中心とした行政に対する各種要望を取りまとめる事務局の役割を担っていただきます)
募集対象者	診療放射線技師
待遇	正職員 給与：本会規程により決定 諸手当：通勤(全額支給)・住居・扶養・役職・調整 昇給：業績に応じて昇給 賞与：あり(年2回)
勤務時間・休日	勤務時間：9:30~17:30(休憩60分) 休日：週休2日制(土・日)(ただし、月2回程度の土日祝日出勤あり。その場合、前後週の平日を休日とする)、国民の祝日、年末年始(12/29~1/3)、年次有給休暇(年20日)、特別休暇(慶弔、夏季(3日)、創立記念日(7/13))
勤務地	本会事務局(世界貿易センタービル) *浜松町駅再開発のため、2020年夏~秋に移転します(都内を予定)
採用日	2020年1月(相談に応じます)
募集人員	1名
宿舍の有無・社会保険など	宿舍：なし 保険：健康・雇用・労災・厚生
応募方法	応募書類：①履歴書(写真貼付・本会認定資格取得者は、資格名および認定番号、メールアドレスを明記)②職務経歴書 ③診療放射線技師免許(写し) *応募書類は全てA4判のこと。書類選考の上、面接日をご連絡致します
書類郵送先	〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル31階 公益社団法人日本診療放射線技師会 専門職採用係宛て
募集期間	2019年12月5日~12月13日(書類必着)
お問い合わせ・担当	公益社団法人日本診療放射線技師会 木村・加藤 Tel:03-5405-3612

INFORMATION

JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ(各種様式→その他)よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

INFORMATION

福井県診療放射線技師会 法人設立40周年記念式典を終えて

福井県診療放射線技師会
会長 山崎 巖

2019年10月6日(日)、ユアーズホテルフクイで福井県診療放射線技師会法人設立40周年記念式典を開催しました。来賓に福井県、福井市、医師会をはじめ、多くの医療団体の代表者をお招きし、歴代会長をはじめ多くの先輩諸兄に支えられ、この日を迎えることができました。本会は1947(昭和22)年8月に設立され、1980(昭和55)年3月に社団法人の認可を受け、2013(平成25)年4月に公益社団法人へ移行し、法人化から40年がたちました。

式典に先立ち、福井県健康管理協会副理事長で県民健康センター所長 松田一夫先生による「なぜ日本のがん死亡率は米国よりも高いのか～今、私たちがなすべきこと～」、日本診療放射線技師会会長 中澤靖夫先生による「日本診療放射線技師会の現状と課題」と題する講演が



行われました。記念式典では、4人の会員が福井県知事より知事表彰を受けました。これからも法人設立40周年を一つの節目として、執行部をはじめ会員一同気持ちを新たに、豊かな人間性と豊富な知識を持った医療人を目指し、医療スタッフの一員として、県民の皆さまから安心と信頼を寄せていただけるよう研鑽を重ね、地域社会に貢献していけるよう努力していきます。



福井県診療放射線技師会
設立40周年 記念

県放射線技師会40年
医療貢献へ決意新た
福井で記念式典

県診療放射線技師会の法人設立40周年記念式典が6日、福井市内のホテルで開催された。会員約60人が節目を祝い、地域医療へのさらなる貢献を誓った。

同会は1947年に結成。80年に社団法人、2013年に公益社団法人となり、同市と大野市の休日急患診療施設で放射線診療業務を担うなど、県民の健康増進、医療用放射線の安全利用に関する知識の啓発、職業倫理の向上などに努めてきた。

山崎巖会長は式典で「放射線を扱う唯一の医療職種として、今後も医療放射線被ばくの低減を目指すなど、県民が安心と信頼を持って医療を受けられるよう貢献していく」と決意を新たにしたりと写真。地域医療に貢献し、同会の会長や理事を務めた4人が知事表彰を受けた。

(高谷優菜)



2019年 秋の叙勲受章者 —おめでとうございます—

- | | | | | |
|-------|--------------|------------|------------|-------------|
| 瑞宝双光章 | 岩崎千代子 (神奈川県) | 小川 清 (埼玉県) | 吉瀬孝志 (福岡県) | 工藤 泰 (宮城県) |
| | 窪野久行 (静岡県) | 白川義廣 (福島県) | 竹内熱志 (北海道) | 高橋喜美 (神奈川県) |
| | 前野正登 (埼玉県) | 宮本一宏 (静岡県) | 森 正三 (茨城県) | 岡田仁志 (岐阜県) |
| | 北森秀希 (大阪府) | | | |

(敬称略・順不同、括弧内は所属地域)

INFORMATION

第15回 中四国放射線医療技術 フォーラム2019を終えて

大会長 巴 昭彦

2019年9月21日(土)・22日(日)の2日間、高知市文化プラザ「かるぽーと」で開催した第15回中四国放射線医療技術フォーラム2019(以下、CSFRT2019)が無事閉会した。

思い起こせば2018年2月19日の常務理事会において、伊東賢二副会長(CSFRT2019大会長)より開催概要が提案され、同年5月の常務理事会で第1回実行(準備)委員会から本格的に準備が始まった。

前年度のCSFRT2018を参考にするため、2018年11月に開催された広島県に多くの理事を派遣した。規模は違うが、開催会場や受付・学会場・懇親会場について見学させていただき、皆で見識を深め、宣伝活動の一環で高知県のプロモーションビデオを放映した。これがなかなか好評で、手応えを感じた1年前であった。

高知県の開催会場は「かるぽーと」しか選択肢がな

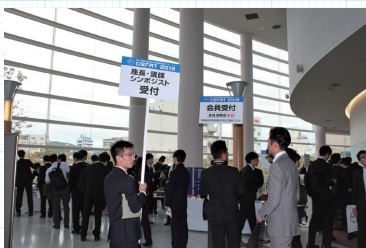


く、また本来であれば11月の開催であるが、「県展」などの通年行事のため9月での開催となった。なお、高知県は9月中旬から台風による影響を受けやすいため、興業中止保険というフォーラム初の損害保険に加入することになった。この保険は、予算案の1%の経費で予算額の70%が補償されるため、安心して準備に専念できた。情報交換会は、ザ クラウンパレス新阪急高知が3年前より予約に応じていただいたが、キャパシティが立食300人では——と、思案を巡らしていた。

メインテーマは「画像維新—進む革新・求める核心—」に決定し、特別講演・シンポジウムの構成やランチョンセミナーのテーマが決まり、講師も徐々に確定していった。

技師会の特別企画も検討を重ね、市民公開講座には少林寺拳法グループ代表の宗由貴氏に講演を依頼した。フォーラム全体の形が見え始めセッションと講師が確定し、全体予算案の根拠も確定してホッと一息ついたが、参加者数と演題登録数が心配になってきた。

この頃、ホテルより連絡があり、嘆願していた一番広い「花の間」が使用可となる。これは喜ばしいことであったが、立食で800人、正餐で450人という巨大スペースをどう利用するか? どのようなプログラムと料理構成にするか? と悩みは増えた。



最終的には演題登録数116を得て、開催会場「かるぽーと」で無理なくプログラムを構成できると皆で納得した。最後の悩みは、情報交換会の事前登録数と学会参加登録数である。

当日まで分からない参加登録は別にして、情報交換会の事前登録は2019年9月14日時点で277人を得た。これで招待客を含めて300人前後という数字が読める。会場形式は正餐と同じ椅子席としたが、バイキングのフードテーブルに場所を取るので300人前後が「ぼちり」(土佐弁で「ちょうどいい」)である。料理は豪勢な姿造りの皿鉢を奢り、土佐の県産品や田舎ずし、土佐の珍味など、そして県外客が期待しているカツオのたたきは十分に振る舞うことにした。1日目夕刻の情報交換会の参加者は317人を数え、よさこい鳴子踊りで大いに盛り上がった。



そして一番肝心の学会参加登録数は、2日目の閉会式前に確認すると560人であった。私をはじめ実行委員一同、この数字に歓喜した。心配したお天気も快晴ではなかったが曇り加減でちょうどよく(9月の高知はまだ暑い!)、また伊東大会長が創意工夫したシンポジウムや特別講演、そして市民公開講座もすこぶる評判が良く、高知県の診療放射線技師の力を集結して開催したCSFRT2019は成功裏に閉会した。

CSFRT2019にご支援、ご協力、ご鞭撻^{べんたつ}を頂いた全ての皆さまに心より感謝を申し上げます。皆で力を合わせてやり遂げたことに大きな幸せを感じた。科学がどれだけ進歩しても、必ず必要となる人間の可能性を確信できた大会であった。



65歳以上の方の会費が8,000円になります!

第79回定時総会において「会費等納入規程」の改正があり、2019年度中に65歳を迎える会員、および65歳以上の会員の方の年会費が8,000円となります。次年度の会費請求から実施することになりましたので、お知らせ致します。

それに伴い、会費の終身免除(会費等納入規程第8条)は、5年間の猶予をもって2023年3月末日で終了致します。

なお、50年勤続表彰受賞者で35年以上継続している会員の方の年会費終身免除は、これまで通りです。

※会費の終身免除

第8条 25年または30年勤続表彰受賞者で25年以上継続して会員であり55歳以上の会員は、100,000円を本会に納付し、その旨を申請することにより、翌年度以降の会費は終身にわたって免除される。

INFORMATION



第3回 第36回日本診療放射線技師学術大会

宮城への道

宮城県放射線技師会 広報部



宮城うまいもの

杜の都、仙台グルメといえば、「牛タン」をはじめ、いろいろな「うまいもの」があります。仙台の牛タンは厚くて有名ですが、たん元の「**芯タン**」はさらに厚くて柔らかく、とてもおいしいです。ぜひ、ビールをお供に必ず食べてみてください。セットで麦飯とテールスープも付きます。

学会開催は10月。宮城の秋の風物詩に、サトイモと豚肉が入るみそ味ベースの「**いも煮**」があります。週末、あちらこちらの河川敷や公園などでは、野外での「**いも煮会**」が行われます。学会場の近くの河川敷でも見られるでしょう。またこの時期、宮城では脂が乗った「**サンマ**」が食べられます。焼サンマ・サンマ刺し、どちらにも日本酒「**ひやおろし**」がおすすめ。まだまだあります。「**はらこ飯**」です。秋サケの切り身のしょうゆ煮、その煮汁で炊き込んだご飯にサケを乗せ、その上にこぼれるぐらいのイクラを乗せたものが「**はらこ飯**」です。想像するだけでもたまりません。赤字覚悟でランチョンに出ないかなあと思っていますが、事務局に怒られそうです。

秋も終わりにになると、次は「**仙台セリ鍋**」が始まります。宮城はセリの生産量が全国1位なのです。そのセリを上から下まで余すところなく、鴨肉だしのスープで頂きます。香草なので好き嫌いがあるとは思いますが、こちらも見掛けたら、ぜひ食べてみてください。さらにこの時期になると松島や牡鹿半島の「**かき**」も出回ります。かきといえば広島や北海道が有名ですが、三陸の豊かな海で採れるかきは、身が大きく食べ応え満点、旨みも濃厚です。宮城のワインと一緒に食べてみてください。市内には**オイスターバー**が、市外には**かき小屋**があります。ぜひこの時期のものを堪能してみてください。

そして宮城のスイーツ代表はやはり「**ずんだ餅**」です。枝豆をつぶして砂糖と塩で味付けし、餅と一緒に絡めて食べる郷土料理で、歴史ある食べ物です。最近ではお店独自のアレンジがあり、特に女子に人気の「**ずんだシェイク**」は、仙台駅や仙台空港でも飲むことができます。他にもいろいろあるので、食べ歩くのもいいかもしれません。

まずは、来年のランチョン弁当、牛タン弁当か、はらこ飯か、スイーツにずんだ餅が出るのか、それとも?…今から楽しみにしてみてください。

それでは、また来月をお楽しみに！



牛タン



いも煮



はらこ飯



仙台セリ鍋



ずんだ餅



笹かまぼこ



***今月の一杯**：今月は「**日高見 (ひだかみ)**」です。魚介類に合わせて造っているそうです。宮城限定の「日高見 Daccha」に焼きサンマ。おいしいですよ～。ぜひ飲んでみてください。



第36回 The 36th Japan Conference of Radiological Technologist (JCRT)

日本診療放射線技師学会 In Sendai

国民と共にチーム医療を推進しよう
Let's promote team medical care with the nation

人と技術をつなぐ令和の未来へ
To the future of Reiwa connecting people and technology

会期
Date

2020年
10月23日(金)→25日(日)

会場
Venue

仙台国際センター

会長
President

中澤 靖夫 Yasuo Nakazawa
公益社団法人日本診療放射線技師会 会長

大会長
Chairman

立花 茂 Shigeru Tachibana
公益社団法人 宮城県放射線技師会 会長

主催

公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催

公益社団法人 宮城県放射線技師会

後援

厚生労働省 (予定)
宮城県 (予定)
仙台市 (予定)



運営事務局 公益社団法人 宮城県放射線技師会 事務局

〒983-0824 宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷三丁目4番15号 TEL: 022(388)3777 FAX: 022(388)3778

眼の水晶体の被ばく限度の見直し等に関して



厚生労働省より、2019年9月24日に「眼の水晶体の被ばく限度の見直し等に関する検討会」（座長：永井良三 自治医科大学学長）の報告書が公表された。これは、放射線審議会において、2011（平成23）年4月「組織反応に関するICRP声明」における勧告や諸外国での被ばく限度に係る法令の施行状況などを踏まえ、2018（平成30）年3月2日に「眼の水晶体に係る放射線防護の在り方について（意見具申）」（電離放射線障害防止規則において、眼の水晶体の等価線量限度が現行で150ミリシーベルト/年のところ、職業被ばくに関する水晶体の等価線量限度を5年間の平均で20ミリシーベルト/年、かつ、いずれの1年においても50ミリシーベルトを超えないこととすることが適当）が取りまとめられ、関係省庁宛てに通知している。

これに先立ち、厚生労働省においても、電離放射線障害防止規則における眼の水晶体の被ばく限度の見直し等に伴う所要の改正の方向について、2018年12月から6回にわたり検討会を開催し、検討会報告を取りまとめた。自身も会議に出席し、資料の提供や議論を重ねてきた。

本検討会報告書の主な概要は、新たな水晶体の等価線量限度の取り入れであり、(1) 眼の水晶体の等価線量限度を5年間の平均で20ミリシーベルト/年、かついずれの1年においても

50ミリシーベルトを超えないこととすることが適当 (2) 十分な放射線防護措置を講じても、なお高い被ばく線量を眼の水晶体に受ける可能性のある者については、一定の期間、眼の水晶体の等価線量限度を50ミリシーベルト/年を超えないこととすることが適当——と結論付けた。

これにより、法改正がなされた場合、医療現場においてわれわれ診療放射線技師の役割はますます重要になると考える。院内において放射線業務従事者の適切な防護法の教育や周知することにより、眼の水晶体被ばくの低減が図られると確信する。

会員の皆さまには、大変なご苦勞をお掛けしますが、それぞれの施設において放射線の専門家としてご活躍されることを切に願う。

本検討会の概要は、下記Webサイトで参照可能である。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02959.html



(文責：富田博信)

12月・1月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

- 放射線機器管理地域研修会： 山形 12月21日(土)
- 医療放射線安全管理責任者講習会： 東京① 1月12日(日) 東京② 1月13日(月・祝)
- 放射線管理地域講習会： 東京 1月13日(月・祝)
- 「救急医療学」(実習)講習会： 愛媛 1月19日(日)
- 災害支援診療放射線技師研修会修了者のための確認試験： 東京 1月25日(土)
- 災害支援認定診療放射線技師講習会： 東京 1月25日(土)～26日(日)
- マネジメント研修会： 大阪 1月25日(土)～26日(日)

ホームページ閲覧のお願い

INFORMATION

「業務拡大に伴う統一講習会」および「診療放射線技師基礎技術講習」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程： www.jart.jp/activity/lifelong_study/schedule.html
- 「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程： www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt0000004api.html

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。